

公益社団法人 全国病院理学療法協会

広 報

令和5年7月20日 第247号

目 次

令和5年度 臨時理事会 議事録(抄)	1
第64回 定時代議員総会 議事録(抄)	2
令和5年度 第1回理事会 議事録(抄)	7
正味財産増減計算書	11
貸借対照表	13
監査報告書	14
令和6年度 診療報酬・介護報酬改定に係る要望事項	15
諸会議及び役員渉外行動報告	16
本部発信文書一覧	17
協会創立75周年・法人認可60周年記念式典	18
厚生労働大臣表彰 受賞者名簿	23
協会表彰 受賞者名簿	24
第72回 日本理学療法学会 開催要項のお知らせ(暫定)	28
第57回 中部理学療法学会 開催案内	29
第46回 理学療法指導者講習会 開催案内	29
令和5年度 地方会執行委員長・支部長名簿	30
令和5年度 協会主要会議及び地方学会等の年度計画表	31
認定訪問マッサージ師・認定機能訓練指導員講習会 開催案内	32

令和5年度 臨時理事会 議事録（抄）

日時 令和5年5月6日(土) 20:00~20:45
場所 協会事務所・他
出席者 <オンライン会議>
理事 平野五十男(会長)

小川 嗣人(副会長・学術局長)
青柳 利之(副会長・事務局長・保険局長)
小路口 憲(常任理事・広報局長・理療編集出版部長)
丹羽つとむ(常任理事・組織局長)
三浦 政則(財務局長)
野山 隆司(情報管理局长・保険局次長)
坂原 博昭(組織局次長)
寒河江健一(広報局次長・特殊出版部長)

監事 中川 保・大内田 義己
公益社団法人管理部長 杉浦 幹雄
クラウドシステム管理部長 佐藤 功

開会に先立ち青柳副会長より、出席者数および理事会成立の確認（定款33条定足数）が報告され、議案は平野会長が議長を務めること。また、書記、録音は小路口、賛否の確認は野山が担当することが告げられ、議案の審議が行われた。

1. 議題

議題1) 令和4年度 事業報告

- 平野 令和4年度事業報告について審議願いたい。(広報246号P4~6参照)
- 青柳 組織局で組織拡充対策会議を3回開催している。進捗状況など代議員会で報告が必要ではないか。
- 丹羽 組織拡充対策会議の検討内容についてまとめしだい報告する。
- 小路口 あはき等法推進協議会に年間7回参画しているが、その中でマッサージ師等が医療機関で就労しづらくなっていることについて、会議の議題になっているのか。
- 青柳 あはき師が医療や介護施設にどの程度就職できているかなど、そのようなことについては議題に上がってはいない。推進協の主な議題は、①施術所管理者研修、②施

術所の広告範囲、③養成校の遠隔授業などである。

(全会一致で承認)

議題2) 令和4年度 収支決算報告及び監査報告

- 三浦 令和4年度の収支決算については報告書のとおりである。
- 青柳 貸借対照表の「財務クラウドリニューアル基金」と「ソフトウェア仮勘定」について説明を求める。
- 杉浦 ソフトウェア仮勘定とは、昨年5月ゼロワークス社へ支払った550万円が協会の固定資産としてみなされるので、貸借対照表に協会の財産として計上している。財務クラウドリニューアル基金の420万円は、今後支払う金額で定期預金に積んでいる基金にあたる。
- 青柳 正味財産増減計算書の印刷製本費が前年度に比較して大幅に支出が増えているが。
- 杉浦 前年度の未払い金並びに理療200号別冊総索引の印刷発行費などが加わったため支出が前年度と比べ増えている。
- 中川 4月29日協会事務所で監査を行い、事業報告及び職務の執行に関する法令違反、定款に違反する行為などはなかったことを確認した。監査の詳細については報告書のとおりである。

(全会一致で承認)

議題3) 第72回 日本理学療法学会 学会長・準備委員長の承認

- 平野 学会長・準備委員長を以下のとおり提案する。

学会長 小路口 憲 氏
準備委員長 杉浦 幹雄 氏

(全会一致で承認)

以上

第 64 回 定時代議員総会 議事録 (抄)

1. 日 時 令和5年5月26日(金)13:00~15:50
2. 場 所 茨城県県南生涯学習センター
3. 議 長 大河原 功 代議員(静岡県支部)
書 記 倉石 健二 表彰委員長
加藤 嵩 茨城県支部
菊地 翔太 茨城県支部

4. 総会成立確認

青柳事務局長から、定款18条により代議員定数17名、出席代議員数16名、欠席者1名で、第64回定時代議員総会の成立が宣言され、採決に際しては、欠席者の藤堂代議員(四国地方会)から藤原代議員(中国地方会)へ議決権の委任がありますので、議長を除く16票で採決を行うことが告げられた。

5. 挨拶 平野 会長

第64回定時代議員総会では、令和5年度の事業が円滑に進むよう活発なご意見をお願いしたい。最近では、全国学会を担当する支部を選任できない状況もある。協会の基幹事業である全国学会を継続して開催するための建設的な意見をお願いしたい。

6. 議案書の修正

青柳 事務局長

議案書6P、第72回 日本理学療法学会の開催に係る承認で、学会長を小路口憲、準備委員長を杉浦幹雄と追記する。

7. 議 題

第1号議案 令和4年度 事業報告

青柳 事務局長

事業報告は広報246号議案書のとおりである。(広報246号P4参照)

第2号議案 令和4年度 収支決算報告及び監査報告

三浦 財務局長

令和4年度の支出では、財務クラウドシステムのリニューアル費用として1,100万円(税込)を分割して支出している。財務

クラウドシステム運用の最終確認後、6月中に残金を業者へ支払う予定である。収支決算報告は正味財産増減計算書及び、貸借対照表のとおりである。

(正味財産増減計算書P11参照)

(貸借対照表P13参照)

中川 監事

令和4年度の監査は、4月29日協会事務所に向いて実施した。財務クラウドシステムのリニューアル費用の請求書、領収書について確認を行った。また、全国学会の開催について担当が決まらない状況が指摘されている。協会の基幹事業でもあるので各地方会、支部においては真剣な取り組みをお願いしたい。監査結果は報告書のとおりである。

(監査報告書P14参照)

(第1号議案、第2号議案、全会一致で承認)

第3号議案 表彰に関する承認

平野 会長

以下の表彰者を提案する。

1) 栄誉賞

小川 嗣人(令和4年春の褒章 藍綬褒章)

青柳 利之(令和4年秋の褒章 藍綬褒章)

2) 学会長・準備委員長表彰

第70回 日本理学療法学会

学 会 長 小川 嗣人

準備委員長 杉浦 幹雄

3) 組織拡大貢献支部表彰 該当支部無し

4) 学術奨励賞 該当者無し

5) 特別感謝状 該当者無し

(第3号議案 全会一致で承認)

第4号議案 第72回 日本理学療法学会

学会長・準備委員長の承認

青柳 事務局長

第72回 日本理学療法学会は本部で担当し東京で開催する。

会期は一日学会とし学会長、準備委員長を以下のとおり提案する。

学 会 長 小路口 憲(北海道支部)

準備委員長 杉浦 幹雄（東京都支部）
近畿会（吉岡）

第73回 日本理学療法学会を近畿会で開催を予定しているが大阪万博の開催もあるので、開催時期を5月以外に変更することも検討している。

小川 学術局長

全国学会開催規程では5月に2日間の開催となっているが、今回は緊急避難的に全国学会を継続するため、本部が会期を一日に変更し担当することにした。ご理解いただきたい。また、大阪万博開催による影響などについては近畿会で心配する面もあるので、今後も本部と近畿会で連携して開催に向け検討する。

近畿会（吉岡）

学会開催規程にある会期の5月を変更しても良いのか。

小川 学術局長

5月以外の開催も視野に入れながら協会本部と近畿会で検討する。

近畿会（上田）

日本理学療法学会規程の4条に会期を5月の2日間とあるが、規定を変更するのか。

小川 学術局長

会期の変更が必要な場合は、担当支部と本部で協議する。

杉浦 公益法人管理部長

定時代議員総会の5月開催は定款で定められているので、学会の開催時期を変更する場合は総会と学会を分離して開催することになる。

近畿会（田中）

コロナ禍の中で実施してきたオンデマンド配信、リモートによる課題講習会等はメリットもあるので今後も引き続き取り組んで欲しい。

小川 学術局長

各地方会でも同様な取り組みで講習会を開催している。それぞれ好評と聞いている。今後もオンライン、オンデマンドなど必要に応じて取り組んでいく。

北海道会（渡邊）

今回、第74回学会の担当を依頼されたが、

北海道地方会の会員数減少などで学会の担当を受けることができなかった。

大河原 議長

全国学会の今後の取り組みについて各地方会より意見を求める。

東北会（菊池）

東北地方会では会員減少の影響もあり、これまでの規模での全国学会開催は担当できないと本部へ回答している。学会の規模や開催の仕方などを見直し、会員の少ない地方会でも担当できるように規模の縮小などを検討すべきである。

近畿会（上田）

今後の全国学会の開催においては、全国の会員が参加しやすい方法としてハイブリット方式での学会開催が必要ではないか。

中国会（藤原）

会員数の減少と高齢化によって、学会を担当することに責任が持てない状況に中国会はなっている。

九州会（石本）

九州でも会員数の減少で担当は難しい。学会の開催地は交通のアクセスが良く会員数の多いところで開催が望ましいと思う。

北海道（渡邊）

学会で発表する会員が減少している。その理由としては医療から離れた職場に就労する会員が多くなっていることが要因である。診療報酬の点数が取れずに退会する会員も増えている。会員減少の中でできる学会を検討すべきではないか。

（第4号議案 全会一致で承認）

第5号議案 第73回 日本理学療法学会開催地の決定

青柳 事務局長

第73回 日本理学療法学会の開催地は近畿地方会を提案する。

（第5号議案 全会一致で承認）

第6号議案 協会創立75周年記念誌発行の承認

平野 会長

協会の記念誌は15年前の60周年記念誌発行以来になる。記念誌の発行は協会の歴

史や活動内容を知る上で重要な役割を持っている。協会創立 75 周年を記念して発行する。

柳澤 記念誌発行編集委員長

本部、支部、地方会の役員へ原稿を依頼している。平成 22 年以降の事業活動について、60 周年記念誌の内容を参考に原稿をまとめてもらう。記念誌は 120 ページ程度で 11 月の発行を予定して編集作業を進める。

(第 6 号議案 全会一致で承認)

第 7 号議案 役員改選管理委員の選任

青柳 事務局長

役員改選管理委員 3 名を提案する。

佐々木 剛 (北海道・東北・関東甲信越)

松田 覚 (北陸・中部・近畿)

武智 健二 (中国・四国・九州)

(第 7 号議案 全会一致で承認)

8. 報告事項

大河原 議長

令和 5 年度の基本姿勢及び事業計画並びに令和 5 年度予算について意見を受けます。

青柳 保険局長

令和 6 年度の診療報酬及び介護報酬の同時改定に向けての要望活動を 6 月中に厚生労働省に出向いて行う。

小川 学術局長

第 46 回理学療法指導者講習会を令和 5 年 10 月 22 日名古屋市で開催する。「肩の機能解剖と理学療法」をテーマに対面式で行う。受講者は支部、地方会からの推薦者 40 名とする。受講者は受講後に支部地方会で伝達講習を実施することが受講の条件になるので、それを踏まえて推薦を受けるようお願いする。午前講義、午後実技を予定している。受講者推薦の締め切りは 8 月 31 日までとする。

(指導者講習会開催案内 P29 参照)

小川 学術局長

令和 5 年度の認定訪問マッサージ師・認定機能訓練指導員講習会は、基礎講義を 11 月 25 日・26 日、実技講義を翌年 2 月 3 日・4 日に開催される。全病理からも多くの会

員が参加するようお願いする。

(講習会開催案内 P32 参照)

小川 学術局長

今年度の運動療法機能訓練技能講習会は神奈川県支部と近畿地方会が対面式で開講する予定。

近畿会 (吉岡)

講習会の期間は令和 5 年 7 月より翌年 1 月までの半年間を予定している。ホームページ上で受講者を募集しているが、現時点では数名の受講申込者にとどまっている。

関東甲信越会 (梅田)

開講式が 7 月 15 日、閉講式が翌年 1 月 7 日を予定している。詳細については協会ホームページをご確認ください。

小川 学術局長

今年度の地方学会開催は中部会で開催を予定している。

中部会 (内田)

第 57 回中部理学療法学会を 12 月 3 日 (日) 名古屋市で開催を予定している。

(中部理学療法学会開催案内 P29 参照)

三浦 財務局長

令和 5 年度収支予算については、厳しい状況の中で予算編成を行った。会費未納者については令和 2 年度、3 年度の未納者 30 名が対象になっている。

丹羽 組織局長

組織拡充対策部会を 2 月より 8 回開催し入会に繋がる対策を検討した。その中では、機能訓練指導員を対象とした講習会を企画し入会を促す。また、学生の学会等の参加費を無料化し参加者を募り全病理の周知につなげる。協会案内のリーフレットを入会に繋がる内容に見直すなどの案が出されている。

佐藤 クラウドシステム管理部長

財務クラウドのリニューアルにより、新システムの運用を 6 月 1 日より開始する。基本的には今までと動作、入力方法など違いはないが、不具合などがあれば本部へ問い合わせして欲しい。

関東甲信越会 (等々力)

特養施設の平均ベッド数は 60 床程度で、一人の利用者の個別機能訓練は 12 単位の

体制加算になっており、とても人件費に合わない算定評価になっている。厚生労働省への交渉時にはデータを持って交渉して欲しい。

青柳 保険局長

体制加算にかかわる要望になると思う。6月中旬ごろに厚生労働省へ交渉に行くので関係する必要なデータを、それまでにいただきたい。

近畿会（吉岡）

認定訪問マッサージ師講習を受講した者に対するメリットなどをアピールしてはどうか。

小川 学術局長

認定訪問マッサージ師講習会の広報の仕方については、構成団体との共同事業として協議して行っている。ホームページや動画、リーフレットなどで内容を配信している。そちらで情報を得ていただきたい。講習会の目的はレベルアップですので、構成団体の中で合意できたものは協会から情報提供する。

近畿会（田中）

組織局の会員拡充対策の取り組みの中で、機能訓練指導員を対象にした講習会を開催するとあるが、開催の広報はどのようにするのか。

丹羽 組織局長

会員外の機能訓練指導員を対象に講習会の開催について、地域の施設や関係する団体などへ案内する予定でいる。

中部会（日比野）

消炎鎮痛処置で就労する会員がリハビリテーションの中で職域を確保するためには、大臣免許であるマッサージ師の手技療法の適正な評価を求めることが重要である。職域を確立するためには戦略として現状を分析し、情報データを収集して厚生労働省へ要望することが必要ではないか。

青柳 保険局長

分析しながら要望に繋げる方法として具体的にどのような方法が考えられるのか教えて欲しい。

中部会（日比野）

大臣免許であるマッサージ師の給与水準

が低いために、配置転換や職場を退職するなど協会を退会している。診療報酬の低評価を打開する方策が必要ではないか。

青柳 保険局長

医療機関における人件費割合を元に雇用条件の見直しについて、6月の厚生労働省への要望では強く訴えていきたい。

中部会（日比野）

運動器セラピスト研修者を協会へ勧誘してはどうか。協会で適切な手技療法の研修を開催し評価を獲得して、マッサージ師の職能団体として組織を拡充してはどうか。

青柳 保険局長

協会の技能認定登録者と運動器セラピスト研修者では受講のカリキュラムや登録更新の条件に違いがあり、いまだ調整ができていない。

平野 会長

協会の技能認定は脳血管リハの算定が可能なことや、職場が変わっても技能認定は失わず算定できるなど、セラピスト研修の資格と違いがある。

青柳 保険局長

現状、具体的に実行するには様々な課題があります。

中部会（日比野）

将来に向けての会員拡充の方策として述べた、会員減少に対する方策を他の代議員に聞いて欲しい。

関東甲信越会（引橋）

私の職場ではPT3名、OT1名、ST1名と私たち技能認定登録者2名でリハ点数をそれぞれの算定枠内で調整して点数を取っている。運動器Ⅲの算定点数は少ないがPTも理解しているので自分の職場では仕事が無くなるとは感じていない。

中国会（藤原）

軽費有料老人ホームに勤務しています。算定はしていませんが、1日32床を対象に体操や、入浴、食事の合間を見て、「歩いてみませんか」、「立ってみませんか」などと声かけして仕事している。

九州会（石本）

短時間の方の介護報酬の施設で勤務している。地域医療として地域貢献に繋がると

思って仕事をしている。通算 30 年になるが今後もやっていきたい。

青柳 保険局長

皆さんの意見を聴くと、資格とか算定要件を超えたところで施設から評価を受けて業務をしていることがよく分かりました。そのことを踏まえて今後の要望につなげたい。

関東甲信越会（杉浦）

課題講習会参加費の値上げの意見があったが、その点どう思うか。

近畿会（吉岡）

課題講習会の開催は支部単位での実施は難しいので地方会で取り組んでいる。オンラインを活用した講習会は、他の地方会からの参加者も有り参加費収入も見込める。

北海道会（渡邊）

参加費の値上げは難しい。現状の 2,000 円で良いと思う。

東北会（菊池）

会員数が少ない支部では参加者収入が見込めないので、会員から講師を立て参加者収入に見合った講習会を工夫して行っている。Web の活用は有意義であり、リモート開催で参加者を増やし費用を賄うことも可能だ。参加費は現状のままで良いと思う。

中部会（近藤）

当初は対面式を望む会員が多かったが、現在はパソコン使用者も増え、Web 開催を望む声も増えて来ている。どちらが良いとは言えないが経費的には不足する事は無い。

関東甲信越会（等々力）

支部においても対面式で実技講習をできるようにしたいので、参加費の増額を支部で決められるようにして欲しい。

関東甲信越会（杉浦）

関東では、これまで支部単位で研修会などを開催してきたが、今後の研修会などは地方会で予算を管理して地方会で行うことを検討したい。

近畿会（吉岡）

会費を 3 月末に振込む会員もいるので、

会費納入案内には納入期限だけではなく納入期間を 4 月 1 日よりと明記して欲しい。また、参加費などの振込で振込者が確認できない場合がある。支部では改善策として氏名の前に支部番号を記載して行っている。他の支部でも参考にしてみてはどうか。支部名より番号の方が記載もれしない。

北海道会（渡邊）

会員の高齢化や定年退職などで退会する会員が増えている。組織局では今後どのようにしていくのか。

丹羽 組織局長

2 月より組織拡充対策部会を 8 回開催し検討している。介護関係で就労している機能訓練指導員向けの研修会を開催し協会への勧誘につなげたい。

三浦 財務局長

会費などの振込では、振込者が判別できる形での記載をお願いしている。

近畿会（吉岡）

年度末の財務処理で口座の残高証明の提出があるが、一般銀行の口座の場合は残高証明の発行に日数がかかる場合があるので、財務処理ファイルとは別に提出することになる。

三浦 財務局長

財務処理の書類などで提出が遅れる場合には、その旨、一言明記して欲しい。

近畿会（上田）

組織対策として技能講習会の受講料を半額に減額するなど、受講者を勧誘してはどうか。

大河原 議長

受講料の減額の提案については、今後の理事会などで検討してもらうこととし、いずれ報告を受けてはどうか。

他、代議員から質問や意見が出されたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以上

令和5年度 第1回理事会 議事録（抄）

日時 令和5年6月11日（日）10:00～12:00

場所 協会事務所・他

出席者 <オンライン会議>

理事 平野 五十男（会長）

小川 嗣人（副会長・学術局長）

青柳 利之（副会長・事務局長・保険局長）

小路口 憲（常任理事・広報局長・理療編集出版部長）

丹羽 つとむ（常任理事・組織局長）

三浦 政則（財務局長）

野山 隆司（情報管理局长・保険局次長）

坂原 博昭（組織局次長）

寒河江 健一（広報局次長・特殊出版部長）

監事 中川 保・大内田 義己

公益社団法人管理部長 杉浦 幹雄

クラウドシステム管理部長 佐藤 功

開会に先立ち青柳副会長より、出席者数および理事会成立の確認（定款33条定足数）が報告され、併せて報告事項の司会進行を青柳副会長が、議案は平野会長が議長を務めること。また、書記、録音は小路口、賛否の確認は野山が担当することが告げられ、事業及び各部局の報告と議案の審議が行われた。

1. 報告事項

報告1) 諸会議及び役員渉外行動報告

平野 諸会議及び役員渉外行動については、報告書のとおりである。

（諸会議及び渉外行動報告書 P16 参照）

報告2) 本部発信文書一覧報告

平野 本部発信文書については、報告書のとおりである。

（本部発信文書報告書 P17 参照）

報告3) 協会ホームページの更新履歴

野山 地方会、支部から課題講習会、研修会の開催案内について、協会ホームページへの掲載依頼が少ない。公益法人として事業活動の開

示は必要であり、地方組織へ周知が必要だ。

小川 本日、午後より開催する地方会代表者会議で、課題講習会、研修会の開催案内をホームページへ掲載することの必要性を周知する。

報告4) 財務クラウドリニューアル作業完了の経過報告

野山 約2年間かけて財務クラウドのリニューアル作業は完了した。6月1日より新システムでの運用が始まっている。各支部、地方会で入力作業が行われているが、特段のトラブルなどは報告されていない。

佐藤 一支部から入力ができないと連絡があった。使用しているパソコンが古くOSがビスタのためリニューアルした新システムに対応できない事例であった。

三浦 携帯電話から財務クラウドへの入力ができないとの問い合わせがある。

野山 ゼロワークス社へ依頼し、スマートフォンからの入力は可能となったが、基本的には財務クラウドシステムへの入力は、パソコンからの作業を前提にしている。

佐藤 財務クラウドへの入力は携帯電話からではなく、パソコンからの入力を基本としているので地方役員へ周知して欲しい。

中川 財務クラウドのシステムリニューアルで良くなった点は何か。

野山 システムのリニューアルは、公益法人としての財務管理システムを長期的に安定運用を図るために実施した。今後も必要なサポートを受け運用していく。

中川 古いパソコンを使用している支部

もあると思うので、財務クラウドへの入力障害にならないよう支部へのサポート並びに周知をして欲しい。

報告5) 第71回 日本理学療法学会 終了報告

青柳 学会参加者数は会員192名、市民公開講座20名、会員外3名であった。学会の参加は事前登録を原則にしていたが、当日に参加した会員が6名いた。収支決算報告は次の広報で報告する。

報告6) 協会創立75周年・法人認可60周年記念式典、祝賀会終了報告

小川 国会議員を始め多くの来賓をお招きして記念式典は予定どおり終了することができた。祝賀会はつくば市内のホテルで来賓を含め70名で盛大に開催することができた。

佐藤 学会、記念式典、祝賀会の写真データを協会のサーバにアップしているので、ダウンロードして見ることができる。

報告7) 協会創立75周年記念誌編集に係る進捗状況

平野 協会創立75周年・法人認可60周年の記念事業の一環として記念誌を11月に発行します。掲載原稿を支部、地方会に依頼しているが、提出が遅れている支部、地方会には催促状を送っている。発行経費として150万円を見積もっている。

報告8) 令和5年度 年会費のJCBからの引落とし結果報告

平野 5月10日 JCBより510名分の引き落としを確認したが、退会者1名からの誤引き落とし、会友会

員から正会員分の会費徴収をする間違いがあった。それぞれ対応済みである。

報告9) 支部・地方会への交付金支給のため解約した定期預金の積立ての実施について

平野 4月7日に交付金支給のため解約した1,400万円については、例年5月末に定期預金に全額を戻しているが、今年度のJCBからの会費納入分が1,100万円に減少したため、解約した定期預金は5月末までに戻すことは出来ない。今後の会費納入に合わせて定期預金に積み立てる。

中川 1,400万円集まる前に1,000万円でも定期預金した方が良いのではないかと。

三浦 手持ち分を定期的に今すぐ積むとなると運転資金面で心配があるので、会費納入状況を見て積み立てたい。今年度の会費納入が遅れているので督促状を送付する。

野山 JCBカードでの会費納入者を増やす努力をしてみてもどうか。

小路口 金利がかかるわけではないので、会費納入状況を見て年度内に1,400万円を定期預金に積み立てれば良いのではないかと。

報告10) 理療・広報の発行状況について

小路口 理療の発行は予定どおり年4回発行している。新年度の内容としては東洋医学基礎講座として医療、スポーツ外傷、美容、介護など、医療と福祉、健康分野での鍼治療における他職種連携など、ジャンル別の鍼治療について掲載を予定している。11月発行の理療206号は、第71回日本理学療法学会の特集号を予定している。今度の広報247号は「協会創立75

周年・法人認可60周年記念事業」に係わる内容を掲載する。発行は7月末の予定。

報告11) 令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会の開催について

小川 神奈川県支部並びに近畿会において7月から対面式での開講を予定しているが、受講希望者の人数によって開催の可否を判断する。

平野 厚生労働省へ技能講習会の後援名義の申請を行った。この後6団体へも後援名義の申請を行う。

中川 神奈川県支部、近畿会からは、募集状況の連絡は入っていないのか。理事会に合せて開催担当の支部、地方会と本部との連絡体制を密にする必要があるのではないかと。

報告12) 令和5年度 理学療法指導者講習会の進捗状況

小川 第46回 理学療法指導者講習会
10月22日(日)名古屋市「名古屋東別院会館」を会場に対面式で開講する。
内容は「肩の機能解剖と理学療法」明日の臨床に役立つ最新情報と題して開催する。受講者は40名を予定している。各地方会、支部へ受講者推薦に係わる案内文を発送する。

報告13) 第72回 日本理学療法学会開催の進捗状況

小路口 第72回学会は本部役員で準備委員会を構成する。学会会期は、諸会議が5月18日(土)、学会は翌日19日(日)に一日学会として東京都千代田区「日本教育会館」で開催する。第1回準備委員会は6月21日Webで開催予定。

(第72回 日本理学療法学会 開催要項P28参照)

報告14) 令和6年度 診療報酬・介護報酬改定に係る要望活動について

青柳 要望事項は診療報酬4項目、介護報酬2項目について、6月22日厚生労働省の各部局へ出向いて要望する。

今年は、子育て対策の予算について、診療報酬、介護報酬などからの持ち出しが検討されるようであり、協会の要望にも影響があるのではないかと危惧している。

(診療報酬・介護報酬改定に係る要望事項P15参照)

小路口 子育て支援の予算に医療、介護、福祉から捻出する話は聞いているが、医療に従事しているあはき師、柔整師の数は医療従事者全体から見ればわずかになっている。全体の予算に影響するものとは考えづらい。

坂原 消炎鎮痛の署名活動を再度行ってみてはどうか。

平野 過去に理教連に協力して取り組んだことはあるが、協会単独では行っていない。

2. 議題

議題1) 令和5年度 事業計画の執行状況と問題点

平野 各部局からの問題提起が無いので、事業計画どおり執行する。

(全会一致で承認)

議題2) 広報発行経費のコストダウンの提案

小路口 印刷会社へ経費のコストダウンをお願いした結果、印刷方法をオンデマンドに変え、ファイリング用の2穴を取りやめることで印刷経費が10%削減することができると回答があった。

小川 大圏社からオンデマンド出力(印刷)したサンプルを役員で確認した上で判断したい。

(全会一致で承認)

議題3) 理療広告掲載の今後の取り組み方について

小路口 理療広告の掲載を安定的に継続するためには、全国学会抄録集へ広告掲載を依頼する際に、広告掲載依頼文に抄録集とは別に、協会学術誌「理療」への1年間の掲載が含まれることを明記し、抄録集の広告掲載によって理療広告の掲載を確保することを提案する。

野山 抄録集の広告掲載料は、従来どおりに学会開催地で決めて良いか。

小路口 抄録集の広告掲載料は学会担当者側で決めることなので、理療出版部では学会で契約した広告を1年間理療へ掲載するだけです。

坂原 抄録とは別に一万円程度理療広告の費用を取ってはどうか。

小路口 理療出版部としては広告料の徴収は考えていない。理療への広告掲載も含まれることで、抄録集広告の依頼もし易くなるのではないかと考えている。

(賛成多数で承認)

議題4) 組織拡充対策会議の進捗状況

丹羽 入会に繋げる取組について保険局と組織局を中心に8人のメンバーで2月24日より8回会議を開き以下の点について検討した。

①介護施設で就労している機能訓練指導員の勧誘につなげる講習会の開催

②学会、研修会へ参加する学生の参加費を無料化し、協会学術活動への参加を促す。

③協会案内のリーフレットを会員の勧誘に繋がる内容に紙面を再検討する。

野山 機能訓練指導員向けの講習会を開催しても、協会に入会する学術的なメリットを継続していけるかによる。協会案内のリーフレットを見直すことは必要だが如何にそれを広報していくかだ。

平野 運動療法機能訓練技能講習会については検討しなかったのか。

青柳 技能講習会以外の取り組みについて検討している。

野山 入会を促すための診療報酬や介護報酬の問題について検討して欲しかった。

丹羽 協会が受け皿になって機能訓練指導員向けの研修会を継続的に開催してはどうか。

平野 講習会は具体的にどのように開催するのか。

青柳 講習会の内容が決まり次第、どこかの支部、地方会に依頼して開催することを考えている。

平野 リーフレットの見直しの内容は決まっているのか。

丹羽 研修会に参加して理学療法や機能訓練の研修が受けられることなどをリーフレットに掲載する。

平野 組織拡充に繋がる内容のリーフレットに見直しては。

小路口 会員減少の背景には診療報酬上の課題がある。本日午後の連盟での協議を求める。

平野 連盟評議員会で協議する。
(全会一致で承認)

理事会では、多くの質問や意見が出されましたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以上

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	3,513	3,393	120
② 受取入会金	105,000	146,000	△ 41,000
③ 受取会費 正会員受取会費	23,883,000	25,142,000	△ 1,259,000
④ 事業収益			
学会事業収益	2,889,560	2,732,000	157,560
講習会事業収益	6,552,000	7,651,500	△ 1,099,500
技能認定登録事業収益	1,425,000	1,405,000	20,000
⑤ 受取補助金	0	0	0
⑥ 受取寄付金	0	5,000	△ 5,000
⑦ 雑収益			
広告料収益	340,000	0	340,000
雑収益	57,443	153,013	△ 95,570
経常収益計	35,255,516	37,237,906	△ 1,982,390
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	900,000	900,000	0
給料手当	0	0	0
福利厚生費	46,847	43,263	3,584
旅費交通費	6,811,109	5,096,143	1,714,966
通信運搬費	2,197,060	2,928,795	△ 731,735
減価償却費	211,095	211,095	0
消耗品費	1,567,741	2,516,653	△ 948,912
修繕費	0	0	0
印刷製本費	6,471,607	1,255,683	5,215,924
光熱水料費	158,401	119,625	38,776
賃貸借料	1,446,970	1,982,320	△ 535,350
保険料	0	0	0
諸謝金	4,653,511	3,625,148	1,028,363
租税公課	66,075	69,525	△ 3,450
支払負担金	0	0	0
雑事業費計	904,147	378,542	525,605
事業費計	25,434,563	19,126,792	6,307,771

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費			
役員報酬	300,000	300,000	0
給料手当	0	0	0
福利厚生費	15,616	14,421	1,195
会議費	0	0	0
旅費交通費	2,270,369	1,698,714	571,655
通信運搬費	732,353	976,265	△ 243,912
消耗品費	522,580	838,884	△ 316,304
修繕費	0	389,100	△ 389,100
印刷製本費	728,689	4,509,790	△ 3,781,101
光熱水料費	52,800	39,875	12,925
賃借料	926,262	990,273	△ 64,011
保険料	0	0	0
諸謝金	0	11,137	△ 11,137
租税公課	22,025	23,175	△ 1,150
支払負担金	0	0	0
雑費	4,020,752	3,966,131	54,621
減価償却費	70,364	70,364	0
管理費計	9,661,810	13,828,129	△ 4,166,319
経常費用計	35,096,373	32,954,921	2,141,452
評価損益等調整前当期経常増減額	159,143	4,282,985	△ 4,123,842
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	159,143	4,282,985	△ 4,123,842
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	159,143	4,282,985	△ 4,123,842
一般正味財産期首残高	71,042,880	66,759,895	4,282,985
一般正味財産期末残高	71,202,023	71,042,880	159,143
II 指定正味財産増減の部			
1 増加の部			
受取利息	74	182	△ 108
2 減少の部			
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	74	182	-108
指定正味財産期首残高	1,830,098	1,829,916	182
指定正味財産期末残高	1,830,172	1,830,098	74
III 正味財産期末残高	73,032,195	72,872,978	159,217

貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

公益社団法人 全国病院理学療法協会

(単位;円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金預金	4,623,552	9,117,853	△ 4,494,301
未収会費	2,860,000	2,270,000	590,000
前払全国学会事業費	520,289	0	520,289
前渡金	0	0	0
流動資産合計	8,003,841	11,387,853	△ 3,384,012
2 固 定 資 産			
(1) 特定資産			
高木賞等基金	1,830,172	1,830,098	74
記念学会基金	2,370,548	2,991,043	△ 620,495
財務クラウドリニューアル基金	4,200,000	5,200,000	△ 1,000,000
公益事業基金	37,042,889	37,039,717	3,172
特定資産合計	45,443,609	47,060,858	△ 1,617,249
(2) 有形固定資産			
建物	4,228,171	4,509,630	△ 281,459
什器備品	1	1	0
土地	11,063,334	11,063,334	0
有形固定資産 計	15,291,506	15,572,965	△ 281,459
(3) 無形固定資産			
ソフトウェア仮勘定	5,500,000	0	5,500,000
無形固定資産 計	5,500,000	0	5,500,000
その他の固定資産合計	20,791,506	15,572,965	5,218,541
固定資産合計	66,235,115	62,633,823	3,601,292
資 産 合 計	74,238,956	74,021,676	217,280
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
未払金	858,761	907,698	△ 48,937
前受会費	348,000	241,000	107,000
流動負債合計	1,206,761	1,148,698	58,063
2 固 定 負 債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	1,206,761	1,148,698	58,063
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	1,830,172	1,830,098	74
2 一 般 正 味 財 産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	45,443,609	47,060,858	△ 1,617,249
正味財産合計	73,032,195	72,872,978	159,217
負債及び正味財産合計	74,238,956	74,021,676	217,280

監 査 報 告 書

会 長 平 野 五 十 男 殿

令和 5 年 4 月 29 日

公益社団法人 全国病院理学療法協会

監 事 中 川 保

監 事 大 内 田 義 己



私たち監事は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討致しました。

なお、新型コロナウイルス対策が緩和されたことから、中川監事・大内田監事の 2 名で、協会事務所で監査を実施した。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一、 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上

令和6年度 診療報酬・介護報酬改定に係る要望事項

1. 診療報酬要望 保険局医療課

1) 疾患別リハビリテーション料における算定上の格差是正について

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）及び、廃用症候群リハビリテーション料（Ⅲ）、並びに運動器リハビリテーション料（Ⅲ）の診療報酬を引き上げ、（Ⅰ）（Ⅱ）との算定上の格差を是正していただきたい。

2) 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）の算定要員について

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）において、（Ⅲ）が算定できるようにしていただきたい。

3) 消炎鎮痛処置の見直しについて

「運動療法機能訓練技能講習会を受講するとともに定期的に適切な研修を修了しているマッサージ師等」のマッサージ等の手技療法を独立させ、診療報酬において評価していただきたい。

4) はり師きゅう師の診療報酬組み入れについて

「運動療法機能訓練技能講習会を受講するとともに定期的に適切な研修を修了しているマッサージ師等」に、はり師、きゅう師を加えていただきたい。

2. 介護報酬医療要望 老健局老人保健課

1) 指定通所リハビリテーション費に係る要望

「運動療法機能訓練技能講習会を受講し定期的に適切な研修を修了しているマッサージ師等」を、全てのサービス提供時間帯において、所定単位数が算定できるようにしていただきたい。

3. 介護報酬介護要望 老健局認知症施策・地域介護推進課

1) 指定通所介護費の個別機能訓練加算に係る要望

「運動療法機能訓練技能講習会を受講し定期的に適切な研修を修了しているマッサージ師等」を、通所介護費等の個別機能訓練加算において、専門加算（仮称）として評価していただきたい。

以上

諸会議及び役員渉外行動報告

月日	用務地	用務内容
4/6	厚生労働省医政局医事課	協会創立75周年記念式典に係る出席依頼(平野)
6	東武宇都宮百貨店	同上 記念品に係る協議(平野)
8	協会事務所	学会・記念式典に係る打ち合わせ(平野・柳澤・小川・青柳・杉浦)
9	協会事務所	交付金送金作業(平野・三浦)
12	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野・杉浦)
14	協会事務所	プリンター修理のため引き取り業者来訪(杉浦)
19	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野・杉浦)
24	オンライン	東洋療法研修試験財団 生涯研修検討委員会(平野)
25	協会事務所	協会創立75周年記念式典に係る打ち合わせ(平野・倉石・柳澤) 日本理学療法士協会 前会長 半田氏 来訪
26	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野・三浦・杉浦・佐藤)
29	協会事務所	令和4年度 監査会(中川・大内田・平野・三浦・小川・青柳・杉浦)
5/9	品川税務署	納税証明書(平野)
10	協会事務所	記念式典・祝賀会打ち合わせ(平野・倉石・柳澤・小田木・杉浦)
10	厚生労働省医政局医事課	大臣表彰状への押印依頼(平野)
10	品川都税事務所	納税証明書(平野)
14	協会事務所	記念式典・祝賀会打ち合わせ(倉石・柳澤・平野・青柳・猿橋)
16	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野・三浦・杉浦・佐藤)
19	厚生労働省医政局医事課	大臣表彰状受け取り(平野)
22	協会事務所	財務クラウドリニューアル確認作業(佐藤・杉浦・平野)
24	協会事務所	記念式典関連物荷造り・発送作業(平野・倉石・柳澤)
26	茨城県県南生涯学習センター (土浦市)	第64回 定時代議員総会
27	同上	第71回 日本理学療法学会
27	ホテルグランド東雲(つくば市)	協会創立75周年・法人認可60周年 記念祝賀会
28	茨城県県南生涯学習センター (土浦市)	第71回 日本理学療法学会
30	協会事務所	会員管理業務(丹羽)
30	オンライン	あはき等法推進協議会(平野・青柳)
31	オンライン	第17回 国民医療推進協議会総会(平野)
6/3	協会事務所	理事会対応会議(平野・小川・青柳・杉浦)
11	オンライン	令和5年度 第1回理事会・地方会代表者会議(理事会構成員・他)
14	協会事務所	葬税理士財務処理(平野・杉浦)
14	オンライン	東洋療法将来研究会 団体長会議(平野)
19	東洋療法研修試験財団	令和5年度 定期評議員会(平野)
21	品川区役所(法務局)	履歴事項全部証明書・印鑑証明発行依頼(平野)
21	協会事務所	葬税理士法人財務処理(平野・三浦)
21	オンライン	第72回 日本理学療法学会 第1回準備委員会(委員会構成員)
22	厚生労働省(保険局・老健局)	令和6年度 診療報酬改定・介護報酬改定に係る要望(平野・青柳)

本部発信文書一覧

月日	文書番号	宛 先	文 書 名
4/1	1	役員・代議員 各位	第64回 定時代議員総会開催通知
	2	監査会 関係役員 各位	令和4年度 監査のお願い
10	3	地方会執行委員長・支部長・財務担当者 各位	令和5年度 交付金等について
10	4	支部長 各位	技能認定登録制度に係る登録の更新について
10	5	厚生労働省医政局長	協会創立75周年・法人認可60周年記念式典に係る厚生労働大臣祝辞のお願い
10	6	町井近畿地方会執行委員長	令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会の開催について
10	7	支部長 各位	令和4年度 技能認定登録制度に係る単位取得講習会等開催報告書の提出について
10	8	支部長 各位	「支部担当者届」の提出について
10	8	地方会執行委員長 各位	「地方会担当者届」の提出について
10	9	地方会執行委員長 各位	第64回 定時代議員総会 関連書類提出のお願い
15	10	支部長 各位	会員名簿確認のお願い
22	11	理事会構成員 各位	臨時理事会開催のお知らせ
26	12	デイジー横浜 理事長	広報・連盟報のデイジー版・複製版製作に係る業務委託契約書の送付について
30	13	厚生労働省・関係医学会	令和4年度 運動療法機能訓練技能講習会終了報告書について
30	14	理事会構成員 各位	令和4年度 決算書及び監査報告書の送付について
5/7	15	代議員 各位	第64回 定時代議員総会の討議資料の送付
7	16	地方会執行委員長 各位	令和4年度 決算書及び監査報告書の送付について
8	17	理事会構成員 各位	第64回 定時代議員総会 出席旅費の申請・精算について
8	18	日本医師会・関係医学会	第71回 日本理学療法学会へのご祝辞拝受について
8	19	関係団体	同 上
19	20	江藤先生・玄番先生	学会抄録・記念式典のしおりの送付
20	21	中部大学 矢澤浩成先生	第46回 理学療法指導者講習会 講師依頼について
22	22	理事会構成員 各位	令和5年度 第1回理事会 開催通知
23	23	理事会構成員・地方会執行委員長・支部長 各位	財務クラウドリニューアル完了と新クラウドの運用開始のお知らせ
23	事務連絡	国立国会図書館	第68回 日本理学療法学会プログラム抄録集
6/6	24	理事会構成員 各位	令和5年度 第1回理事会 討議資料の送付
6	宅配便	協会表彰受賞者 各位	表彰状・記念品(高木賞・後藤賞)
8	25	該当支部	協会創立75年記念誌発行に伴う原稿執筆依頼
10	26	梅田弘之・神奈川県支部長	令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会の開催承認について
10	27	厚生労働事務次官	令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会の後援名義使用のお願い
10	28	日本医師会・他5団体	令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会の後援名義使用のお願い
13	29	地方会執行委員長・支部長	第46回 理学療法指導者講習会の受講者推薦についてのお願い
20	30	地方会執行委員長・支部長	令和5年度 第1四半期決算ファイル送付について
21	31	支部長 各位	令和4年度「承認単位通知書」の送付について
21	32	該当支部	令和4年度 単位取得等講習会開催報告書提出督促通知
22	33	厚生労働省保険局医療課長	令和6年度 診療報酬改定に係る要望書
22	34	厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課	令和6年度 介護報酬改定に係る要望書
22	35	老健局 老人保健課	同上
25	36	役員・支部長・他	令和5年度 役員名簿(附・支部長名簿)の送付
27	37	支部長	令和4年度 「承認単位通知書」の送付について(再送)

協会創立75周年・法人認可60周年記念式典
— 式 次 第 —

開 式 の 辞	副 会 長	青 柳 利 之
式 辞	協 会 長	平 野 五 十 男
協会 75 年の 歩み	式典委員長	小 川 嗣 人
厚生労働大臣祝辞	厚生労働大臣	加 藤 勝 信 様
来 賓 祝 辞		
厚生労働大臣表彰式	厚生労働省	
(1) 受賞者代表		菊 池 武 彦
(2) お礼の言葉		日比野 智
協 会 表 彰 式		
(1) 高 木 賞	高木賞表彰委員長	江 藤 文 夫 様
	受賞者代表	町 井 修 治
(2) 後 藤 賞	後藤賞表彰委員長	後 藤 修 司 様
	受賞者代表	川 添 隆
(3) 功 績 賞	協 会 長	平 野 五 十 男
	受賞者代表	田 中 保 行
(4) 功 労 賞	受賞者代表	加 藤 崇 生
(5) お礼の言葉	協会表彰受賞者代表	神 林 幸 生
祝 電 披 露		
閉 式 の 辞	常 任 理 事	小 路 口 憲

協会創立75周年・法人認可60周年記念祝賀会

開会の辞	記念式典委員長	小 川 嗣 人
挨拶	協 会 長	平 野 五 十 男
来賓祝辞		
乾 杯	理療編集顧問	玄 番 央 恵
閉会の辞	公益社団法人管理部長	杉 浦 幹 雄

式 辞

公益社団法人 全国病院理学療法協会

会 長 平 野 五十男

本日ここに、公益社団法人全国病院理学療法協会が、協会創立 75 周年・法人認可 60 周年の佳節を迎えるにあたり、公私ともにご多用のところ厚生労働省、並びに関係行政庁、関係学会、及び関係諸団体より多数のご臨席を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

またこの慶事に臨み、厚生労働大臣より「多年にわたり理学療法業務に従事し国民の保健医療の向上発展に寄与した功績が顕著である」として 8 名の会員に表彰状が授与されることになりました。

本日の式典に、錦上花を添えていただくこの表彰は、受賞者はもとより、協会にとりましてもこの上ない名誉であり、協会を代表いたしまして心から御礼を申し上げます。

近年、わが国は医療技術の進歩と生活環境の改善により、世界に類を見ない速さで高齢社会に進展し、それに伴い保健・医療・介護、並びに福祉の領域に広く携わる私達、理学療法従事者には、より高度な知識と技術の習得が求められています。

本日の記念式典を契機に更なる研鑽に努め、優れた知識と技術とともに、人の心を豊かにする感性に磨きをかけ、逆境にあっても真に社会に求められる医療人を目指して、なお一層の努力を続ける所存であります。

ここに改めて、ご臨席を賜りましたご来賓各位に対しまして、従来にも増してのご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、ご来賓並びにご参会の皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます、式辞といたします

令和 5 年 5 月 吉日

厚生労働大臣祝辞

厚生労働大臣

加藤 勝 信 様

公益社団法人全国病院理学療法協会創立 75 周年及び法人認可 60 周年記念式典の開催に当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

貴会におかれては、平野会長を始め、会員の皆様方のたゆまぬ御努力により年々発展を遂げられ、昭和 23 年の創立以来、今日まで 75 年の永きにわたり、国民の健康の維持・向上に大きく貢献されてきたことに、心から敬意を表します。

また、本日、理学療法分野でのご活躍により表彰を受けられる 8 名の皆様は、長年にわたって業務に精進され、日本の保健衛生の向上に貢献してこられました。その熱意と努力に対し、心から敬意を表するとともに、今後ともこれまでの長い経験を活かして精励され、後進の育成や指導にもご尽力いただくようお願いいたします。

我が国の医療を巡る環境は、急速な少子高齢化や、医療技術の高度化、国民の医療サービスへの需要の多様化など大きく変化しています。こうした中、医療に対する国民の安心・信頼を確保し、質の高いサービスを安定的に提供できる体制の構築は重要な課題です。

こうした中、住み慣れた地域で、人生の最後まで自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。このような取組を進める上でも、理学療法の果たす役割や、理学療法に対する国民の期待は、今後ますます大きくなっていくものと考えています。

創立 75 周年を迎え、皆様方が、より一層の自己研鑽に努め、理学療法の資質の向上を図ることにより、国民の期待に応えていただけると強く確信しています。

最後に、本式典のご成功と、本日お集まりの皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念して、私のお祝いの言葉といたします。

令和 5 年 5 月 27 日

協会 75 年の歩み

協会創立 75 周年・法人認可 60 周年

記念事業実行委員長 小川 嗣人

本協会は、我が国の理学療法の発展と国民の保健医療の向上・発展に寄与することを目的に、病院・診療所等に勤務する理学療法従事者の知識・技術の向上に努める学術団体として、昭和 23 年 4 月東京警察病院で「日本医療マッサージ師会」設立総会が開催されスタートしたのである。

設立後は、中部・近畿をはじめ全国へと組織拡充が進み、昭和 24 年 4 月には日本医師会館において「全日本医療マッサージ師会」となり、昭和 27 年 4 月に「日本物理療法師会」と改名した。その後、昭和 38 年 9 月には法人認可を受け「社団法人日本病院マッサージ協会」として新たな船出となった。

本協会は常に時代の変遷と医療情勢の変化の荒波の中を歩み続けてきた。昭和 28 年にはアメリカの理学療法制度を念頭に置いた「理学治療師法案」の作成に着手することになり、昭和 30 年には「理療師法」制定に向けて国会提出への準備を進めていた。しかし、昭和 31 年に同法案の提出直前に見送りとなる苦い経験をしたのである。昭和 32 年からは、日本のリハビリテーションの先覚者である東京大学名誉教授高木憲次先生の提唱により、「整肢理療師」としての研修を積極的に行ったものの、日本整形外科学会が難色を示し断念。昭和 38 年厚生省（現 厚生労働省）は理学療法士及び作業療法士法の制定に向けて動き出し、昭和 40 年 6 月に同法が公布され、昭和 41 年理学療法士及び作業療法士国家試験が実施され、本協会からも多くの理学療法士が誕生し、その後の「日本理学療法士協会」設立により、本協会会員が減少し始めたため、本協会の再構築が至上課題となった。昭和 41 年 6 月に名称を「社団法人全国病院理学療法協会」と変更し、更なる理学療法の発展と組織強化のためにまた新たな歴史を創り出した。

このように幾多の苦難を乗り越えられてきたのも、一貫して日本の理学療法の発展に取り組む学術団体としての姿勢が評価されたことだと思ふのである。昭和 27 年大阪において日本整形外科学会に参加して、第 1 回日本理学治療学会が本協会の主催する日本理学療法学会の始まりであった。その学会も今年で第 71 回を迎え、その歴史の重みを感じている。

昭和 50 年からは基礎理学療法講習会（240 時間）を開催し、昭和 53 年からは

毎年「理学療法指導者講習会」を開催し、今年で46回目となり、会員の資質向上に努めてきた。昭和57年には当時の厚生省、日本リハビリテーション医学会、日本整形外科学会の後援のもと、理学療法講習会（前期基礎編120時間）を昭和58年まで実施し、昭和59年から昭和60年にかけて理学療法講習会（後期臨床編120時間）を実施した。このような地道な努力の結果、平成に入り理学療法算定要員としての位置づけが明確に示された。

平成2年に「専従者加算」、平成4年には「理学療法Ⅲ」の新設により「専従する理学療法従事者」と明記され、同年に厚生省の指導監督と関係医学会の後援のもと、「運動療法機能訓練技能講習会」を全国で開催した結果、平成8年には運動療法機能訓練技能講習会を受講したものが「施設基準Ⅱ」の中に位置づけられた。

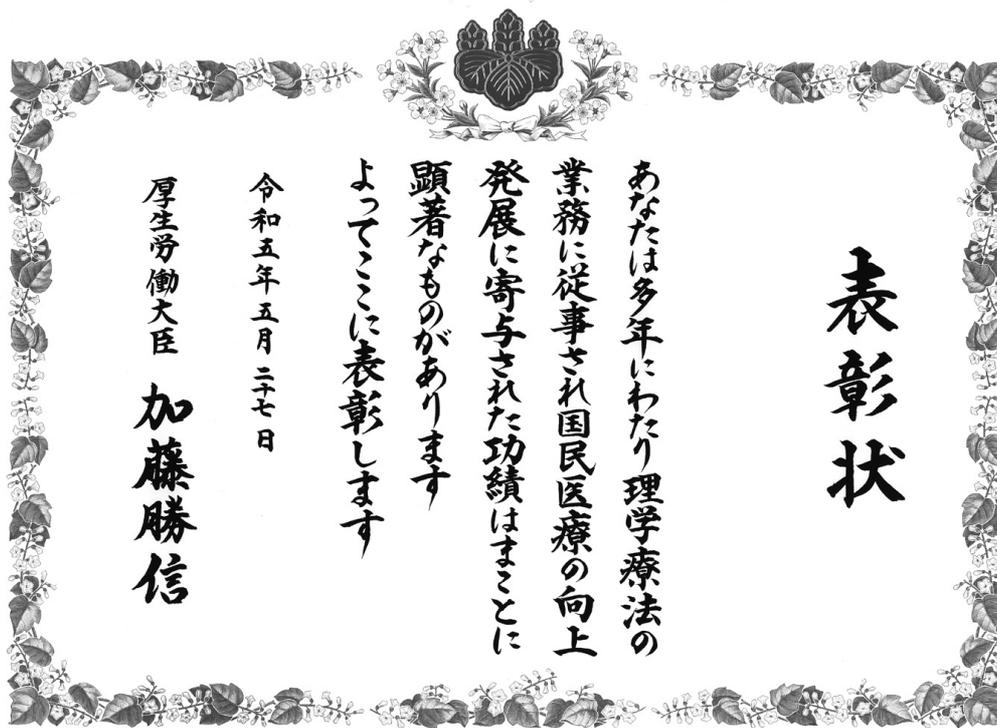
また、平成18年には一定条件のもと、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）（Ⅱ）と脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）の算定が認められ、平成20年には脳血管疾患等リハビリテーション料の施設基準が（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）に分類されたなか、（Ⅱ）の施設において（Ⅲ）の算定ができるようになった。しかし、平成22年に大きな変化があり、それまで算定ができた（Ⅰ）の施設基準において（Ⅲ）の算定ができるのは外来のみとなり、本協会の会員が打撃を受けたのである。それでも平成24年の診療報酬改定では従来通り入院も算定可能になり、介護報酬改定においても技能認定登録者が通所リハビリテーションで1～2時間に限り所定の単位数が算定できることになった。

こうした診療報酬改定の内容は本協会の存続と表裏一体であり、令和の時代になっても常に不安定な要素を含んでいるものの、それでも75年という歴史は日本の理学療法に大きな功績を残してきたことは間違いのない事実である。国民の多くから支持をいただきながら保健、医療、介護、福祉を通じて貢献出来たことは我々の大きな財産となっている。

本協会は日本の社会情勢の変化、その時代のニーズ、疾病構造の変化など目まぐるしく変わる時代背景を観ながら、今後の日本のリハビリテーションにおける理学療法は勿論のこと、保健、医療、介護、福祉、東洋医学等の分野においても幅広く活躍できるよう研鑽に努めてまいります。そのためにも関係官庁、関係医学会及び関係諸団体の皆様方のご理解と幅広いご支援を賜り本協会の新たに進む道を開いていく所存です。

終わりに臨み、ご来賓並びにご参集の皆様方の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ「協会75年の歩み」といたします。

令和5年5月吉日



厚生労働大臣表彰(8名)

井上	聡 (千葉県支部)	大野	法行 (北海道支部)
菊池	武彦 (岩手県支部)	酒井	康友 (神奈川県支部)
猿橋	寛弥 (茨城県支部)	等々力	正和 (長野県支部)
日比野	智 (愛知県支部)	渡會	洋一 (岐阜県支部)

(五十音順)

お礼の言葉

厚生労働大臣表彰 受賞者代表
日比野 智

緑の風薫るこの佳き日に、茨城県県南生涯学習センターで挙行されました「協会創立七十五周年・法人認可六十周年記念式典」におきまして「理学療法業務功労者」として私たち八名が、栄誉ある厚生労働大臣表彰を受賞することができました。

誠に身に余る光栄であり、心より厚く御礼申し上げます。

私たち受賞者一同は、今日の感激をしっかりと胸に刻み、今後、益々多様化する理学療法業務の進展に努め、常に国民のニーズに応えうる真の理学療法従事者を目指し、日々精進することをここに誓いし、お礼の言葉といたします。

令和5年5月27日



高木賞(21名)

北青	海森	道県	支支	部部	大川	野浪	敏重	彦治	工藤	英範
岩手	秋田	秋田	支支	部部	細寒	川河	健幸	公一	高橋	欣智
山茨	形城	千葉県	支支	部部	神尾	川千	幸貞	一生	坂本	克夫
千東	葉京	都支	支支	部部	尾川	千佐	一寛	男幸	船越	啓太郎
神新	奈川	都支	支支	部部	川千	佐鮎	正昌	一則	松本	仁宏
長野	野重	府支	支支	部部	黒町	目白	昌修	修弘	松本	宏一
三大	阪府	府支	支支	部部	黒町	目白	昌修	弘治	平田	弘一
香川	府支	府支	支支	部部	目白	石	修	進進		
大分	支支	支支	部部	部部				豊		

お礼の言葉

協会表彰 受賞者代表

神林幸生

このたび、協会創立七十五周年・法人認可六十周年の佳節に際しまして、このような身に余る賞をいただいたことは、誠に大きな喜びであり、受賞者を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

今後、私たちは、この賞に恥じないよう、また、この榮譽に奢ることのないよう、自らの日々を厳しく律し、保健・医療・及び介護の領域における理学療法従事者として、知識や技術とともに、豊かな感性の研鑽に励みたいと思います。

本日は誠にありがとうございました。

令和5年5月27日



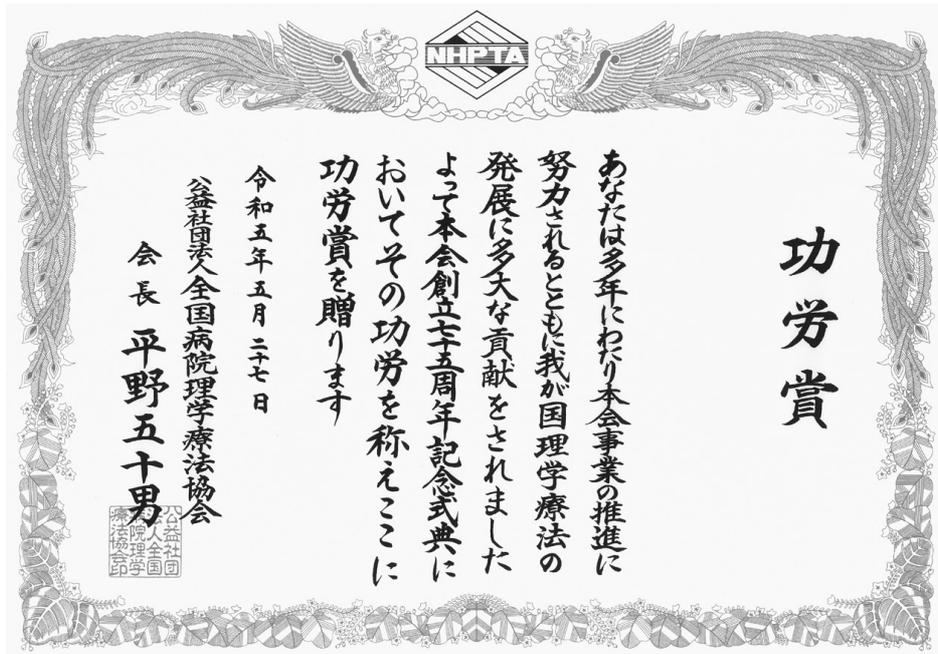
後 藤 賞 (28名)

北海道支部	坂 田 武			
青森県支部	荒 川 彰 雄			
岩手・秋田県支部	松 村 祐三郎	佐々木 剛		
福島県支部	山 本 則 男	八 木 勝 彦		
埼玉県支部	横 川 安 則	菅 澤 威 仁	鳥 海 孝 一	
千葉県支部	景 山 浩 道	河 原 亜矢子		
東京都支部	熊 谷 まり子	麻 生 美奈子		
神奈川県支部	川 添 隆	山 本 雅 司	成 井 孝 造	
	大 川 孝 子	村 川 正 行		
新潟県支部	五十嵐 康 弘			
長野県支部	大 井 輝 昭	宮 下 吉 二	翠 川 一 利	
愛知県支部	水 野 登			
三重県支部	西 出 隆 彦	木 村 和 彦		
兵庫県支部	吉 岡 豊 英			
鳥取県支部	福 山 洋			
香川県支部	瀬 戸 邦 重			



功 績 賞(36名)

北海道支部	吉川 康男	渡邊 紳一	中西 敬明
	賀上 賢一		
岩手・秋田県支部	伊藤 武	林 稔	
埼玉県支部	市川 朋行	荒井 宏之	
千葉県支部	菅田 道夫	加瀬 達也	直井 修一
東京都支部	土屋 光恵	宮下 貴良	
神奈川県支部	萩原 正博	阿部 武美	
新潟県支部	渋谷 優子		
長野県支部	前田 徳彦	上原 勝則	明石 裕磨
岐阜県支部	間野 明雄	丹羽 晴実	山田 安彦
愛知県支部	大岩 成行	倉田 洋一	宮田 克彦
三重県支部	下阪 孝子		
大阪府支部	田中 保行	中谷 聡	
広島県支部	藤原 勝子		
徳島県支部	角山 宏幸		
香川県支部	浜田 大	藤川 隆	河合 誉
大分県支部	家村 久治	又賀 勝信	麻生 昌寿



功 労 賞(47名)

北海道支部	大石 康雄	石村 司	藤本 義人
岩手・秋田県支部	早坂 正治	上野 敏夫	春川 和雄
	小山田 栄喜	伊藤 宏	
福島県支部	菊地 俊	柳田 弘典	佐波古俊也
茨城県支部	加藤 崇	菊地 翔太	
埼玉県支部	小島 総		
千葉県支部	山田 浩二	山崎 輝子	小林 悟史
	小林 浩行	川名 恵子	後藤 誠次
	板倉 博和	福田 龍也	
神奈川県支部	滝沢 彩乃	橋田 和子	奥村 正敏
	書上 千春	澤野 佳子	高橋 仁子
岐阜県支部	馬場 重行	林 忍	田中 秀宜
	澤野 明彦		
愛知県支部	天野 人志	海老 拓史	奥村 大
	片桐 勝巳	金丸 直樹	我如古哲徳
	川村 英明	鈴木 茂	田ノ下純一
	宮地 正之		
三重県支部	小林 裕子	洞 良夫	
大阪府支部	辻 喜代和	堀江看士朗	
兵庫県支部	上田 亮		

第72回 日本理学療法学会 開催要項のお知らせ（暫定）

詳細は（広報学会特別号 9月発行予定）でお知らせいたします

令和6年度に実施予定の標記学会は、地方会及び支部での開催が困難なため本部が担当する緊急措置が講じられました。

第64回定時代議員総会（令和5年5月26日 土浦市）終了後、直ちに準備委員会を立ち上げ、6月21日に第1回委員会を開き開催要項などを協議、日程及び会場、開催形式は決まりましたが、学会テーマ、特別講演及び市民公開講座等は、今後の調整に委ねられました。

本来であれば、広報7月号において、開催要項、演題募集要項をお知らせするところですが、上記の理由により決定事項のみ暫定的にお知らせし、他事項は学会特別号（9月発行予定）に掲載することといたします。

会員の皆様には、ご理解いただけますようお願い申し上げます。

学会長 小路口 憲

開 催 要 項（暫定）

- | | |
|---------|--|
| 1, 日 程 | 令和6年5月18日（土） 第65回 定時代議員総会
令和6年5月19日（日） 第72回 日本理学療法学会 |
| 2, 会 場 | 一般財団法人 日本教育会館
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 電話 03-3230-2833 |
| 3, 形 式 | 一日学会として対面式で開催 |
| 4, 内 容 | 演題発表・特別講演・市民公開講座・総会報告会・他
※ 演題は通年どおり募集の予定 |
| 5, 準備委員 | 学 会 長 小路口 憲 常任理事
準備委員長 杉 浦 幹 雄 公益社団法人管理部長
事務局長 青 柳 利 之 副 会 長
準備委員 平 野 五十男 会 長
〃 小 川 嗣 人 副 会 長
〃 野 山 隆 司 理 事 |

学会事務局 公益社団法人 全国病院理学療法協会内
〒141-0032 東京都品川区大崎三丁目 6-21
ニュー大崎 318 号 電話 03-3494-1948 FAX 03-3494-1950
Mail 学会担当 青柳 dcm9ou5xije8q@4dl.gmob.jp
協会事務所 yakuaa@mars.plala.or.jp

第57回 中部理学療法学会 開催案内

テーマ 『手技療法と我々の役割』
—これからの手技療法のあり方—

日時 令和5年12月3日(日) 9時30分～16時

会場 名古屋市総合社会福祉会館 7F 大ホール
〒462-0844 名古屋市北区清水四丁目17番1号

主催 公益社団法人 全国病院理学療法協会 中部地方会
担当 中部地方会

特別講演 テーマ 「スポーツ選手の体のメンテナンスを効果的に実施するには」
—生活習慣改善支援に生かそう—

講師 元中日ドラゴンズのトレーナー ^{がねこ}我如古 ^{てつり}哲徳 先生

会員発表 10題(予定)

参加費 3,000円(会員)

学会長 内田 弘巳 ・ 準備委員長 渡会 洋一

事務局 〒489-0805 愛知県瀬戸市陶原町3-12
瀬戸中央病院 リハビリ室 鈴木 茂
TEL 0561-82-1200 FAX 0561-82-9669
E-mail : g1520483@gmail.com

第46回 理学療法指導者講習会 開催案内

日時 令和5年10月22日(日) 9:00～16:00

会場 名古屋東別院会館 2階会議室「萩」
〒460-0016 名古屋市中区橘二丁目8番45号
TEL 052-331-9576

タイトル 「肩の機能解剖と理学療法」 ～明日の臨床に役立つ最新情報～

講師 中部大学 生命健康科学部 理学療法学科
理学療法実習センター
理学療法士 ^{やざわ}矢澤 ^{ひろなり}浩成 先生

講義形式 対面式 午前：座学 ・ 午後：実技

受講者数 40名(各支部長推薦者のみ) 取得単位数 5単位

旅費 協会では負担しますが、公共交通機関や宿泊ホテルの予約は個人で
手配してください。

申込期限 令和5年8月31日 (厳守)

令和5年度 地方会執行委員長・支部長名簿

地方会名	氏名	役職名	郵便番号	住所
北海道	工藤英範	地方会執行委員長	041-0811	北海道函館市富岡町3-22-6 シャトム美原南606号
東北	菊池武彦	地方会執行委員長	023-0808	岩手県奥州市水沢字日高小路24番地3 カーサシラウメC棟202号室
関東甲信越	杉浦幹雄	地方会執行委員長	179-0081	東京都練馬区北町3-17-11-401
中部	加藤尚浩	地方会執行委員長	472-0015	愛知県知立市谷田町本林2-14-3 ライオンズマンション知立南5番館501
北陸	向井由美子	地方会執行委員長	920-0965	石川県金沢市笠舞2-35-10
近畿	町井修治	地方会執行委員長	575-0032	大阪府四條畷市米崎町9-1
中国	川口清宣	地方会執行委員長	731-0214	広島県広島市安佐北区可部町桐原1058-2
四国	石川啓一	地方会執行委員長	791-8036	愛媛県松山市高岡町508-8
九州	石本必勝	地方会執行委員長	851-0121	長崎県長崎市宿町498-1-501

支部名	氏名	役職名	郵便番号	住所(自宅)
北海道	工藤英範	支部長	041-0811	北海道函館市富岡町3-22-6 シャトム美原南606号
青森	川浪重治	支部長	037-0016	青森県五所川原市一ツ谷523-17
岩手・秋田	菊池武彦	支部長	023-0808	岩手県奥州市水沢字日高小路24番地3 カーサシラウメC棟202号室
山形	寒河江健一	支部長	992-0025	山形県米沢市通町8-2-12-1
宮城	菅原喜弘	支部長	984-0056	宮城県仙台市若林区成田町61-1 佐松マンション207号
福島	星辰雄	支部長	966-0016	福島県喜多方市関柴町平林字関田316-7
茨城	猿橋寛弥	支部長	310-0832	茨城県水戸市吉田3054-2
栃木	引橋三佐夫	支部長	329-0204	栃木県小山市東黒田218-11
埼玉	山下勇司	支部長	350-1112	埼玉県川越市上野田町59-27
千葉	井上聡	支部長	260-0822	千葉県千葉市中央区蘇我町1-5-17 グリーンコーポ蘇我505
東京	杉浦幹雄	支部長	179-0081	東京都練馬区北町3-17-11-401
神奈川	梅田弘之	支部長	259-1145	神奈川県伊勢原市板戸311
新潟	藤原文男	支部長	959-0321	新潟県西蒲原郡弥彦村大字上泉1793-4
長野	等々力正和	支部長	399-8201	長野県安曇野市豊科南穂高5247-4
静岡	大河原功	支部長	417-0001	静岡県富士市今泉3290-8
富山	高島勉	支部長	939-1401	富山県礪波市東保310
石川	向井由美子	支部長	920-0965	石川県金沢市笠舞2-35-10
福井	渡邊文夫	支部長	916-0107	福井県丹生郡越前町上糸生30-4
岐阜	栗山英	支部長	501-0225	岐阜県瑞穂市祖父江12-1
愛知	近藤隆信	支部長	463-0002	愛知県名古屋守山区大字中志段味可良素1760-32
三重	内田弘己	支部長	510-1222	三重県三重郡菰野町大強原3653
京都・滋賀	奥村栄浩	支部長	615-0901	京都市右京区梅津南広町47-1-909
大阪	田中保行	支部長	581-0084	大阪府八尾市植松町5-16-20
兵庫	吉岡豊英	支部長	663-8025	兵庫県西宮市荒木町2-11
奈良	岡田光裕	支部長	636-0082	奈良県北葛城郡河合町薬井187
和歌山	速水茂久	支部長	649-6222	和歌山県岩出市岡田257-7
広島	川口清宣	支部長	731-0214	広島県広島市安佐北区可部町桐原1058-2
山口	杉村典也	支部長	745-0801	山口県周南市久米3106-8
鳥取	福山洋	支部長	680-0945	鳥取県鳥取市湖山町南3-163-5
島根	高木耐正	支部長	695-0011	島根県江津市江津町545-4
徳島	島田夏彦	支部長	770-8074	徳島県徳島市八万町下福万128-15
香川	平田弘一	支部長	761-2402	香川県丸亀市綾歌町岡田下581-5
愛媛	藤堂芳文	支部長	791-8067	愛媛県松山市古三津3丁目21-22 プレミノール古三津B棟202
福岡	植松佳春	支部長	805-0041	福岡県北九州市八幡東区祝町1-18-20
長崎・佐賀	石本必勝	支部長	851-0121	長崎県長崎市宿町498-1-501
大分	麻生昌寿	支部長	870-1107	大分県大分市敷戸駅北町6-10
鹿児島	森山文仁	支部長	890-0007	鹿児島県鹿児島市伊敷台6-19-10
沖縄	田場上	支部長	901-2203	沖縄県宜野湾市野嵩2-10-7-2

令和5年度 協会主要会議及び地方学会等の年度計画表

(令和5年7月1日現在)

	代議員総会 理事会・監査会等	広報・理療発行	学会・記念式典等
令和5年 4月	令和4年度 監査 29日(祝)		
5月	第64回 定時代議員 総会26日(金)	理療 204号	第71回 日本理学療法学会 27日(土)・28日(日) 土浦市 茨城県県南生涯学習センター 協会創立75周年記念式典・祝賀会 27日(土)
6月	第1回 理事会 11日(日)		
7月		広報 247号	令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会 開講式 神奈川県支部 (15日・伊勢原市) 近畿地方会 (16日・エルおおさか)
8月		理療 205号	
9月			
10月			第46回 理学療法指導者講習会 22日(日) 名古屋東別院会館 2階 会議室「萩」
11月	第2回 理事会 5日(日)	理療 206号	
12月		広報248号	第57回 中部理学療法学会 3日(日) 名古屋市総合社会福祉会館 7階 大ホール
令和6年 1月			令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会 修講式 神奈川県支部 (7日・伊勢原市) 近畿地方会 (7日・エルおおさか)
2月		理療 207号	第30回 運動療法機能訓練技能講習会 技能認定試験 (12日・伊勢原市・エルおおさか)
3月	第3回 理事会 3日(日)	広報 249号	

※ 令和5年度 運動療法機能訓練技能講習会は、神奈川県支部及び近畿地方会で開催予定

※ 葵税理士法人との財務処理を適宜開催する予定

※ あはき等法推進協議会・東洋療法研修試験財団関連の会議は不定期に開催

令和5年度

「認定訪問マッサージ師・認定機能訓練指導員」講習会のご案内

I 基礎講義

日 程 令和5年11月25日(土)・26日(日)

講義内容 ①高齢者の医療と倫理 ②高齢者の心理
③介護予防・体力測定法 ④高齢者の合併症とリスク管理
⑤療養費の扱いと同意書 ⑥初期評価・報告書・施術録の書き方
⑦介護保険制度における機能訓練指導員の役割
～アセスメントと実施計画書の書き方～

II 実技講義

日 程 令和6年2月3日(土)・4日(日)

講義内容 ①関節可動域検査 ②筋力検査
③日常生活動作検査 ④機能回復訓練・高齢者の体力測定

III お問い合わせ先

(公社) 埼玉県鍼灸マッサージ師会 〒360-0012 埼玉県熊谷市上之 1777-4

電 話 048-525-3222 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～16:00

IV 構成団体

(一社) 日本東洋医学物理療法学会 (公社) 全日本鍼灸マッサージ師会

(公社) 全国病院理学療法協会 (社福) 日本視覚障害者団体連合

(公社) 日本あん摩マッサージ指圧師会 (公社) 東洋療法学校協会

日本理療科教員連盟

発行人 公益社団法人 全国病院理学療法協会

〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-21
ニュー大崎 318号

TEL 03(3494)1948

FAX 03(3494)1950

e-mail yakuaa@mars.plala.or.jp

発行責任者 平野 五十男

編集責任者 小路口 憲

ken218@lapis.plala.or.jp